

— 7. 支部役員会報告 —

平成 22 年度日本気象学会北海道支部役員会報告

1 平成 22 年度第 1 回理事会

(「細氷 56 号」96 頁で報告済)

2 平成 22 年度第 2 回理事会

(1) 日 時：平成 22 年 10 月 6 日 (水) 14 時 00 分～15 時 10 分

(2) 場 所：札幌管区气象台 中会議室

(3) 出席者：中井支部長、吉田常任理事、長谷部常任理事、山崎常任理事、若林常任理事、志田理事、川島幹事長、網蔵幹事、稲津幹事、西山幹事、佐藤幹事、廣瀬幹事、黒良地方区理事 (計 13 名)

(4) 議 事

つぎのア～ウの 3 議題について、事務局及び担当幹事から説明があり了承された。

ア 平成 22 年度第 1 回理事会報告

イ 平成 22 年度支部事業報告 (中間報告)

① 平成 22 年度支部総会開催報告

② 平成 22 年度第 1 回研究発表会開催報告および第 2 回研究発表会開催予定について

③ 第 28 回気象講座「新しい気象」開催報告

④ 支部機関誌「細氷」56 号刊行について

⑤ 平成 22 年度支部予算収支中間報告

⑥ 北海道支部ホームページの運用状況

ウ その他

① 平成 22 年度気象講演会の開催について

事務局から、企画案に沿って説明された。

平成 22 年度は、今夏の猛暑について講演してはどうかと常任理事から提案され、支部長に打診したところ、气象台が積極的に行うべき講演会であると判断し、札幌管区气象台が主動で気象学会が共催という提案となった。開催時期については、猛暑を話題とするため、雪が本格的に降る前とした。開催日の第一候補は、準備の前日が平日であるほうが都合が良いので、11 月 16 日 (火曜日)。

② 平成 22 年度第 2 回支部研究発表会

(事務局) 昨年度は学会から 9 題の発表があった。(想定では 5 題であったが。) 大学の評価委員会の日程を避けたいが、評価委員会の日程と重なる場合には、北大発表分を 1 日に凝縮する方法もある。

(幹事長) 評価委員会の日程は未定だが、基本的に木曜日に行われる。

③ 特別気象講演会の実施について

管区气象台が平成 23 年 1 月開催予定のサイエンスカフェ共催の打診について事務局から内容案が説明され、共催が了承された。

④ 平成 24 年度秋季大会について

事務局から平成 24 年度秋季大会の準備について提案され、以下のような議論がなされた。

(事務局) 平成 19 年度秋季大会の時は、平成 18 年夏には会場が決まっていた。例年、会期

は3日間、会場数は4つである。ノウハウがある北大に主動して戴きたい。また、可能ならば会場も北大が良いと考える。

(常任理事) 北大の学術交流会館は、2年前から仮予約、1年前から正式予約ができる。もし使用するならば今からでも動けるが、これでは会場数は足りない。また、会場を北大以外にするという案もあるかと思う。

(支部長) 北大の学術交流会館等は仮予約をし、他の施設についてもリサーチする。

(常任理事) 開催は10月か。

(幹事長) 他の地域で開催する場合は通常11月だが、北海道開催の場合は寒さがあるため、早めの10月である。

(事務局) 会場・日程は北大・山崎先生メインでお願いする。

(常任理事) シンポジウムの内容については、少し考えておく。

※10月7日には山崎常任理事により、北大学術交流会館全館を2012年10月2日(火)午後～5日(金)までを予約(開催予定は10/3～5)。

3 平成22年度第3回北海道支部理事会(中止)

※3月11日「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生により中止

(報告を検討・予定していた事項)

(1) 日 時：平成23年3月11日(金) 15時00分～

(2) 場 所：北海道大学 エンレイソウ 第2会議室

(3) 出席者：(12名予定)

(4) 議 事：

ア 平成22年度第2回理事会報告

イ 平成22年度支部事業報告

① 平成22年度支部総会

② 平成22年度支部研究発表会

第1回：6月8日 北海道大学百年記念会館

第2回：12月15日～16日 札幌管区气象台(气象台研究会と共催)

③ 第28回気象講座「新しい気象」

第1日目：7月26日 札幌市青少年科学館

第2日目：7月27日 札幌管区气象台

④ 支部機関誌「細氷」56号刊行について

9月30日発行

⑤ 気象講演会

11月6日 札幌市男女共同参画センター

⑥ 特別気象講演会

開催日：平成23年1月15日(土) 15時00分～16:30

場所：紀伊国屋書店札幌本店 1F インナーガーデン(札幌管区气象台と共催)

⑦ 平成22年度支部予算収支中間報告(3月1日現在)

⑧ 北海道支部ホームページの運用状況

⑨ 支部理事会開催状況

⑩ 平成23年度支部事業計画(案)

⑪ 2011年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦

ウ その他

- ① 平成 23 年度支部事業計画（案）提案について
- ② 北海道支部長の異動に係る代行者の指名について
- ③ その他の検討議題提案について

平成 23 年度日本気象学会北海道支部役員会報告

1 平成 23 年度第 1 回理事会

- (1) 日 時 : 平成 23 年 6 月 3 日 (金) 15 時 00 分～17 時 00 分
- (2) 場 所 : 札幌管区气象台 防災連絡室
- (3) 出席者 : 川津支部長、吉田常任理事、長谷部常任理事、山崎常任理事、若林常任理事、志田理事、石渡理事、松岡会計監査、稲津幹事長、川島幹事、西山幹事、岡田幹事、廣瀬幹事、藤吉全国理事、黒良全国理事 (計 15 名: アンダーライン付きは新任者)

(4) 議 事 (司会進行: 稲津幹事長)

新年度第 1 回目の理事会開催にあたり、各役員の自己紹介を行い議事が進められた。

ア 平成 23 年度日本気象学会北海道支部役員について

5 月 1 日に網蔵幹事が逝去されたので、幹事 1 名欠員。

イ 平成 23 年度日本気象協会北海道支部 業務分担について

支部長に川津札幌管区气象台長及び事務局に岡田幹事が新任。

幹事長に稲津幹事、前幹事長の川島幹事は幹事へ交代。

稲津幹事長が、協会幹事が選出されるまで、企画講演担当に入る。

川島幹事が、細氷編集を担当する。

※ア・イについて、事務局から提案し了承された。

ウ 平成 22 年度第 3 回支部理事会報告

平成 23 年東北地方太平洋沖地震発生により中止された旨、および当日の予定議事について、事務局から説明し、了承を得た。

今年 3 月に退官した中井支部長から、山崎常任理事が支部長不在期間中の職務を代行するように指名され、了承された旨を報告した。

エ 平成 22 年度支部事業報告

事務局から概要を説明し、承認された。

(理事) 気象講演会と特別気象講演会の参加人数、特別気象講演会のファシリテーターの名前も明記すること。

(事務局) 資料には、追加しておく。

(理事) 気象講演会のテキストとかは残っているのか。

(事務局) 細氷の中にある。

オ 支部ホームページ運用状況

網蔵氏に代わり事務局から概要を説明し、承認された。

(理事) ホームページは、今はだれが管理していて、どこかに頼んでいるか。

(事務局) 協会の幹事が担当しており、企画講演担当の仕事。

カ 平成 22 年度支部会計収支計算書

事務局から予算の執行状況について報告し、承認された。

キ 平成 22 年度支部会計監査報告

4 月 13 日に管区气象台で実施した会計監査結果について、松岡会計監査から適正に処理されている旨の報告があり了承された。

ク 平成 23 年度支部事業計画 (案)

事務局から概要を報告

① 支部総会

6月8日(水)14時00分～ 北海道大学 学術交流会館 小講堂にて実施
総会の出席予定者11名及び欠席による議長委任状が34名で通常会員68名の過半数を
超えており総会成立の見込み。

② 支部研究発表会

6月8日(水)支部総会後に同会場にて実施(4～6題程度)

③ 第29回気象講座「新しい気象」(両日共に各2題の講座を行う)

7月26日(火)～27日(水)にかけて実施予定

(26日は札幌市青少年科学館、27日は北海道大学で実施予定)

(理事)北大の何処で行うか。

(事務局)低温科学研究所で行う。

④ 気象講演会

計画を含め実施予定だが、現段階では未定

⑤ 支部機関誌「細氷」57号の発行

⑥ 支部HPの運営

⑦ 支部理事会

第1回 平成23年6月3日(金) 札幌管区气象台

第2回 平成23年9月予定 札幌管区气象台

第3回 平成24年3月予定 北海道大学

⑧ 全国大会の準備委員会の立ち上げ

来年度開催予定の全国大会の準備の為、今年度から委員会を立ち上げる。

(理事)全国大会の準備金は、どこから出るか。

(事務局)実費が本部から出るようになっている。

(理事)平成24年度秋季大会の準備委員会の設立は、事業計画案に入れておかなく
てもよいのか。

(事務局)事業計画案に入れることにする。

ケ 平成23年度収支予算書(予算案)

事務局からの提案に、以下の意見が出された。

(支部長)計画未定の講演会の予算額「0」を載せる必要があるのか。

計画を予定しているが未定の場合は、昨年並の予算を記載するように。

(事務局)実施を予定するので、前年度並みの金額を入れておく。

コ その他

会員の確保について

- ・事務局より、本年度の支部会員が196名(昨年度より14名減)で200名を割ったとの報告があったが、会員の確保について、良い案はないか。
- ・気象学会だけの悩みではなさそうだ。
- ・気象講座等での地道な働きかけしかないか。

気象講座の今後のあり方について

- ・サイエンスカフェ形式が良いのではないか。
- ・昨年度は特別気象講演会という形でサイエンスカフェを実施して、気象講座は青少年科学館と气象台でやった。これを、サイエンスカフェを気象講座という形にして、特別気象講演会を合併するというイメージ。
- ・大学の著名な先生のお話をふらっと気楽に聞けるのがサイエンスカフェの良いところ。
- ・サイエンスカフェのよいところは、コミュニケーションがあるところ。
- ・開催日に問題があり、土・日曜日の開催も検討する必要がある。

- ・やり方まで含めて、例示をいくつかして、改革のアイデアを挙げる段階なので、今後も議論を進めたい。

2 平成 23 年度第 1 回幹事会

- (1) 日時 : 5 月 25 日 (水) 15 時～
- (2) 場所 : 札幌管区気象台 2 階 中会議室
- (3) 出席者 : 稲津幹事長、川島幹事、西山幹事、廣瀬幹事、岡田幹事
- (4) 打合せ事項 : 平成 23 年第 1 回理事会の議事内容検討